

湘潭市との交流に関わった3人から話を聞きました！



聖泉大学 教授
唐 楽寧さん
交流当初から使節団兼通訳を歴任

彦根市日中友好協会 事務局長
北村 忠雄さん
市民として使節団に複数回参加



▲友好親善使節団の通訳を務める唐さん(写真中央)(1996年)



▲友好親善使節団湘潭市訪問の様子(写真の右端が北村さん、左から5人目が唐さん)(2018年)



▲日中友好都市小学生卓球交歓大会に出場した向山さん(写真左)(2007年)

interview

私が国際交流から学んだこと



向山 佳歩さん
日中友好都市小学生卓球交歓大会に彦根市代表として出場

interview

2人が想う交流のかたち

湘潭市との交流に関わった経緯・きっかけは？

唐さん 友好交流事業に湘潭市の通訳として携わったのがきっかけです。その後、大学院生として来日し、今も市内の大学で教授をしながら通訳として交流に携わらせていただいています。

北村さん 中国語の勉強を始めたことがきっかけで、中国人留学生と交流するようになり、それがとても楽しくて、湘潭市との友好交流にも参加しました。

湘潭市の雰囲気や人の印象は？

北村さん 街中で麻雀や、カードゲームをしたり、庶民的な雰囲気がいっぱい残っています。その一方で、メインストリートに行くと、タワーマンションみたいな高層ビルが立ち並んでいて、新旧のバランスが取れた街の印象があります。また、湘潭市の一般家庭を訪問した際は、手作りの料理で大歓迎してくれたこともあり、皆さんフレンドリーで非常に人情味がある人が多いと感じています。

ここまで友好交流を続けてこられた理由は何だと思えますか？

唐さん 彦根市では湘潭市との交流だけでなく、留学生や仕事で来日している中国人との交流も盛んに行われています。互いに共生できる社会を作っていくために、献身的に支え合っていくという日本人の心のやさしさを感じます。

彦根市と湘潭市が今も交流できている根底には、彦根市民の“支え合う”という気持ちがあったからではないかと思えます。

これからの交流についてどのような想いをお持ちですか？

唐さん この30年の間に、多くの人々の交流が生まれました。今後は、人的交流と併せて、経済に結びつくような交流も必要だと考えています。湘潭市は産業の規模が大きく人口も多いです。企業同士が出会うチャンスを作り、両市にとって経済的にプラスになるような交流も行っていければ良いと考えています。

北村さん 文化や考え方の違いを知ることが、小さな誤解や偏見を解き、多文化共生社会につながっていくと考えています。

例えば、ごみの捨て方一つでも日本と中国では違います。よく中国人からごみの分別について聞かれますが、私は、分別方法だけでなく日本人のごみに対する考え方も伝えています。相手の理解を得るには、文化や考え方の違いを知ってもらうことが大切です。それが、多文化共生社会につながっていくのです。

湘潭市との友好交流が、互いの文化や考え方を知る機会となり、国際理解を深める良い交流になればと願っています。

身振り手振りで伝え合い

言葉が通じない中で、なんとかお互い身振り手振りで伝え合いプレーをしていました。湘潭市の監督からも熱心に指導をいただき、プレーを褒めてもらえたときはとてもうれしかったです。観客席からの「加油！(がんばれ！)」という応援に励まされ、みんなと力を合わせてブロック2位まで勝ち進めたことは、とても良い思い出です。

壁を作ることなく話せた

中学・高校のとき、中国から来日した卓球選手がいました。私は、その中国人に日本語や漢字を教えたり、率先して話しかけに行っていました。中国に行ったとき心細く不安だった自分に、現地の人がとてもやさしく接してくれた経験があったからこそ、私も同じように何かに役に立ちたいという気持ちで壁を作ることなく話せたんだと思います。小学生の時に参加した友好交流は、とても大切なことを教えてくれた良い経験だったと思います。

一緒に過いっしょ

食事や宿泊先も湘潭市の人と同じで、常に一緒に過ごしていました。夕食後は、トランプをして遊んだのを覚えています。言語や文化が違うので最初は壁があると思っていましたが、食事やカードゲームと一緒に楽しむことで、相手の考えていることや楽しむものが自分と同じなんだと気付きました。



<彦根市・湘潭市友好都市締結30周年記念事業>

友好交流に関する 覚書の調印

これまで交流の節目には、両市が友好の絆を覚書や協議書において確認してきました。

今年は、これまでの項目に加え、コロナ禍を踏まえた世界的な災害などの支援などを盛り込んだ新たな覚書に調印します。

両市の経済交流のための 意見交換会

両市の経済活性化のため、両市の企業が参加するオンライン意見交換会を実施する予定です。

交流30年を振り返る パネル展

市内各所で、30周年の交流の様相を紹介するパネル展を開催します。
詳しくは、追って彦根市ホームページなどでお知らせします。